

2025年度 活動報告

京都〈臨床美術〉をすすめるネットワーク

2025年度の主な活動

【例会】6月28日(土) 対面例会&勉強会「テラコッタタイルを作ろう&臨床美術士交流会」

会場:京都北大路アトリエ苗 参加者:10名(事務局3名)

関西の臨床美術士とテラコッタタイルを手作り。各現場での作成イメージなどを共有。

あらかじめ作っておいたタイルに絵の具やオイルパステルで試作も実施。

発色や描き心地を確認し合った。その後は交流会。現場での印象深かったエピソードや

画材についてお互いに情報交換した。



【例会】11月29日(土) 対面例会&ワークショップ「デコボコいろいろ版画」

会場:中京区いきいき市民活動センター

メイン:城野 サブ:入田、岩崎(事務局) 参加者:8名(事務局2名)

チームセッションの学びの場として対面のワークショップを開催。

実施のためにチームを組んでプログラム選別から読み込み、練習会を行った。

当日は関西の臨床美術が参加。その後、交流会を実施。交流会では現場での課題などについて情報交換した。



【例会】2月7日(土) オンライン例会&ワークショップ「あみだくじアート」

会場:オンライン

メイン:岩崎朋美(事務局) サブ:大西(事務局)、梶谷(事務局)

参加者:17名(全国の臨床美術士)

オンラインの為、関西圏以外からも募集。ミニワークショップ体験会を実施。その後の交流会では

「導入の工夫について」をテーマに各現場で実施している導入のやり方や課題などを共有。

またオンラインでのセッションについても議題に上がった為、技術的なことや課題などを情報交換し合った。



【定期講座】

- ・ 府立医科大学神経内科「脳いきいきアート」講座。
月2回で継続。2023年4月から精神科の成本迅先生の協力で開講。
2024年4月から大学校内での開講に戻る。2026年の現在は参加者6～9名。
- ・ 大原記念病院グループ「雅の郷」で入居と通所の混合の講座を月1回で継続。
他講座は休止状態。

【その他～チームの様子】

- ・ 2025年1月にネットワークのグループラインを作成、継続して運用。
原則は関西在住の臨床美術士を対象。現在64名。例会の様子などを写真にて共有。
そのほか宣伝等でそれぞれに利用。

課題 – 2025年度の活動を通して見えてきた今後の課題

今年度は素材に触れて試す機会やチームセッションを改め深める場、オンラインセッションなどバランスよく実施でき、特にテーマを決めた交流会は充実していた。継続的にこの取り組みを行うこと、対面ワークショップにてチームセッションを学びあう意義を発信し、メイン・サブ担当含めて参加人数をもう少し増やすことが課題。

-

展望・目標－2026年度の計画

1) 講座運営

府立医科大学精神科協力の講座は、精神科と相談して広く参加を働きかけていく。他の施設には講座再開の働きかけができるように、チームづくりを含めて動く。

2) 例会日程

- 6/6(土)午前 対面勉強会&交流会
- 10/31(土)午前 対面ワークショップ&交流会
- 2/20(土)午前 オンラインワークショップ&交流会